

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公開番号】特開2016-104173(P2016-104173A)

【公開日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-035

【出願番号】特願2015-249334(P2015-249334)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 2 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月13日(2016.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、
 遊技媒体が流下する流下経路と、
 前記流下経路を流下する遊技媒体が通過したことを検出する第 1 検出手段と、
 前記流下経路を流下する遊技媒体が通過したことを前記第 1 検出手段よりも下流側で検出する第 2 検出手段と、
 前記第 1 検出手段と前記第 2 検出手段との検出結果に基づいて、前記第 1 検出手段と前記第 2 検出手段の検出数の差が所定の閾値を超える異常を判定する異常判定手段と、
 前記異常判定手段により異常と判定されたことに基づいて異常が発生した旨を遊技機外部に報知するためのエラー状態に所定期間移行させる移行手段と、
 を備え、
前記所定の閾値は、前記流下経路において前記第 1 検出手段と前記第 2 検出手段との間に滞留し得る遊技媒体の数よりも多い値であり、
前記移行手段がエラー状態に移行させている期間においても前記流下経路を遊技媒体が流下し得るとともに、当該期間においても前記異常判定手段は、前記第 1 検出手段と前記第 2 検出手段との検出結果に基づいて異常を判定するものであり、
前記移行手段は、前記移行手段がエラー状態に移行させている期間において前記異常判定手段により異常と判定されたことに基づいて、エラー状態に再度所定期間移行させるものである、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、
 遊技媒体を用いて遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技媒体が流下する流下経路と、

前記流下経路を流下する遊技媒体が通過したことを検出する第1検出手段と、

前記流下経路を流下する遊技媒体が通過したことを前記第1検出手段よりも下流側で検出する第2検出手段と、

前記第1検出手段と前記第2検出手段との検出結果に基づいて、前記第1検出手段と前記第2検出手段の検出数の差が所定の閾値を超える異常を判定する異常判定手段と、

前記異常判定手段により異常と判定されたことに基づいて異常が発生した旨を遊技機外部に報知するためのエラー状態に所定期間移行させる移行手段と、

を備え、

前記所定の閾値は、前記流下経路において前記第1検出手段と前記第2検出手段との間に滞留し得る遊技媒体の数よりも多い値であり、

前記移行手段がエラー状態に移行させている期間においても前記流下経路を遊技媒体が流下し得るとともに、当該期間においても前記異常判定手段は、前記第1検出手段と前記第2検出手段との検出結果に基づいて異常を判定するものであり、

前記移行手段は、前記移行手段がエラー状態に移行させている期間において前記異常判定手段により異常と判定されたことに基づいて、エラー状態に再度所定期間移行させるものである

ことを特徴としている。